一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は23人の議員が質問に立ち、46項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
- ➢第１回定例会の会議録は、5月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
- ➢会議録検索システムは、5月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会ホームページからご覧ください。
- ➢開催日に生中継を配信します。
- ➢録画中継は、開催日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から配信します。
- ➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

---

1 奥住匡人（自由民主党）

百草倉沢エコミュージアム事業を契機とした日野の未来像について

問 日野・百草スマホで集めるスタンプラリーの成果と課題を問う。

答 多くの皆様にご参加いただき、百草地区がミニマムツーリズムの訪問先として十分な資質を備えていることを示す結果を得ることができました。関連各課や市民と連携し、トイレや案内表示などハード面の環境整備を進めることが課題であると考えます。

問 たま学びテラス構築広域連携事業の成果について問う。

答 多摩市公民館との連携事業を通じ、市民が百草地域の奥深い歴史や文化、魅力を学び、新しいつながりを得られる学習環境を整えることができたと考えています。

2 ちかざわ美樹（日本共産党）

ごみ搬入路裁判、市は一度の違法判決を正面から受け止め、誰もが安心して過ごせる北川原公園を

問 上告の理由を問う。

答 通行路設置は一時的、暫定的なものであり、都市計画法に違反することは無いと考えています。多様な性をさらに尊重する日野へ―パートナーシップ制度導入にあたって

問 進捗状況を問う。

答 日野市男女平等基本条例を根拠とし、対象要件や申請方法を定める方向で策定を進めています。すべてのいのちを守れ！住民参加で水害時の「日野市避難計画」の作成を

答 総合的に避難方法を検討し、市全体の避難計画作成を検討します。

3 伊藤あゆみ（自由民主党）

妊娠前からの子育て支援について

問 不妊治療に関する市の支援について問う。

答 ホームページで情報発信するとともに、子ども家庭支援センター母子保健係保健師が相談対応し、必要に応じて専門相談機関や医療機関を紹介する支援体制を取ります。子宮頸がんワクチン接種について

問 市の積極的勧奨の再開見込みを問う。

答 4月より定期接種対象の小学校6年生相当から高校1年生相当までの女子に通知を発送します。健康を守り未来を歩めるまちに向かって

問 がん検診の受診率向上の取り組みを問う。

答 検診受診勧奨と無料化、受診しやすい環境づくりを継続します。

4 谷和彦（自由民主党）

日野市再犯防止推進計画について

問 策定に至った経緯と課題について問う。

答 国や都の再犯防止計画を勘案し策定しました。犯罪者を社会で孤立させず、自立に必要な社会での受入れをいかに進めるかが課題と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に関する支援について

問 個別接種の対応をしている医療機関への支援状況について問う。

答 医療器具やワクチン管理に必要な設備の導入には、日野市医師会を通じ支援を行っています。日野市の緑地保全について

問 市独自の緑地信託制度に基づき、保全契約期間中は税の減免など負担軽減に努めています。

5 伊東秀章（無会派）

子育てしやすい街に～障害のある子の居場所・移住者にも住みやすい街に～

問 インクルーシブ教育の現状を問う。

答 都より受託し、一部の学校で障害のある者とない者が共に学ぶオンライン交流を実施しています。この内容を各学校に情報提供し、推進します。

問 移住者に優しく住みやすい街にするには。

答 必要な情報をしっかり提供し市の良さを感じてもらうことと考えます。保護猫シェルターに補助金を

問 市の取り組みを問う。

答 令和4年度から地域猫活動支援ボランティアに要した猫を譲渡するまでに要した経費を補助する予算を計上し、次年度以降は飼養する場所の賃借料なども検討します。

6 窪田知子（公明党）

今後の感染症に備えて地域医療と介護、福祉の連携体制の構築を求める

問 日野市版地域医療体制の構築について問う。

答 医療と介護の連携は不可欠であり、コロナ禍で活用の幅が広がったオンラインを活用し、ネットワークをさらに充実、推進することで在宅療養に携わる関係多職種との連携を図ります。誰ひとり取り残さない日野へ 高齢者、子どもへの支援強化を求める

問 高齢者に対する情報発信について問う。

答 広報では、臨時号の発行など、積極的な情報発信に努めていますが、デジタルツールのない方へのオンタイムによる情報伝達は非常に難しく、課題と認識しています。て

問 医療用の防護服や手袋が不足した場合の支援について問う。

答 国や都から直接、医療機関へ定期的な配送が行われています。東京都議選・日野市議選における選挙違反と投票率向上策について

答 若年層の投票率が際立って低いことから、引き続き若年層への選挙啓発に取り組みます。

7 峯岸弘行（公明党）

3・11から11年。日野市の防災対策と被災地との絆について

問 地域自主防災会立ち上げの進捗状況を問う。

答 現在、市内17小学校中12校で設立されており、残る5校についても推進しています。新型コロナウイルス感染防止対策について

8 馬場賢司（公明党）

フレイル予防事業など高齢者の皆様が安心できる支援について

問 運動事業を問う。

答 運動強度を事業別に区分し、健康レベルに応じた参加を募り、より適切なフレイル対策となるよう事業を進めます。

問 コロナ禍での社会活動参加支援について問う。

答 介護予防教室や老人クラブなど地域で通える場の提供やシニアICT支援事業などデジタルを通じたつながりの創出に取り組みます。小学校体育館へのエアコン設置など学校施設整備について

問 今後の計画を問う。

答 令和4年度から各年度5校ずつ設計業務を行い、翌年度から工事を実施し、7年度までに15校の整備を目指します。

9 有賀精一（無会派）

市政の腐敗・元副市長問題の根にあるものは何か？法令遵守と情報公開の市政運営こそ問題解決の道

問 保育園建設への関与の認識を問う。

答 前市長指示を受けたという絶対的存在感から容認したという認識です。新選組まつりと元副市長の問うて

問 まつりを通じて、問題は発生しなかったのか。

答 元副市長に起因した問題は発生していません。新型コロナウイルス感染症から市民を守る医療体制を早急に！

問 医療ネットワークについて問う。

答 保健所を中心とした医療ネットワークの中で支援体制を最大限活用しながら取り組みます。

10 須崎貴寛（自由民主党）

「新選組のふるさと日野」のまちづくりと、日野市のビジョンについて

問 シティセールス、プロモーションにおける新選組のふるさと日野の効果検証について問う。

答 日野市の認知度向上や、市への来訪促進などの効果があったと認識しています。また、市の経済活性化や移住、定住の機会の創出にもつながっていると考えています。

問 （仮称）2030ビジョン策定の方針を問う。

答 これまでのように個別施策事業を網羅的に記載するのではなく、2030のあるべき理想像に向けて諸力融合で持続可能な地域社会を目指すための戦略、考え方を提示します。また、同様の性質を持った法定計画も整理しながら策定していくことを考えています。

11 田原茂（公明党）

魅力あふれる公園整備を目指して！

問 インクルーシブ遊具の設置状況について問う。

答 令和4年度予算において、都の補助金を活用し、日野中央公園への設置を計画しています。

問 遊具や樹木の管理など、民間による包括管理制度の導入について問う。

答 費用対効果などを検証し、今後の導入について検討します。思い切った交通網の整備を！

問 マイカーやAIを活用したタクシーなど多様な手法を駆使した取り組みについて問う。

答 既存の公共交通の形にこだわらず、AIの活用も視野に入れ、日野市型のデマンド型交通や住民ボランティア型交通の確立を目指し、交通空白地域の解消につなげます。

12 白井なおこ（無会派）

誰もが自分らしく共に生きる社会をめざして（ケアラー・ジェンダー・子ども）

問 ケアラー支援を問う。

答 ヤングケアラー支援として福祉政策課と事務局に福祉関連課、子ども関連課、さらには、社会福祉協議会や外部の有識者参加の検討会を立ち上げ、実態把握の方法や支援策などを検討します。

問 子どもたちの第三の居場所を問う。

答 生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習生活支援事業「ほっとも」の増設を10月を目途に検討しています。

問 子どもオンブズパーソン制度の設置を問う。

答 福祉オンブズパーソン制度を土台として、令和4年度から制度の検討に着手し、なるべく早期の制度構築に向けて取り組みます。

13 佐藤琢磨（無会派）

ウクライナ難民を想定した市の対応について

答 オリンピックのホストタウンとして交流したことを踏まえ、人道上の見地から迅速、また適切に対応します。

子どもが真ん中 その①～コロナ禍の学び

問 学級閉鎖の際の学びをどのように対応を問う。

答 双方向型オンライン授業に課題はありますが、オンラインを活用した授業の知見を集め、各学校を支援します。

多摩都市モノレールの子ども料金について

問 一日乗車券の試行的割引と新選組まつりとのコラボについて問う。

答 連携の可能性を実行委員会などで協議します。

14 島谷広則（チームみらい）

「教育」は学業だけではない 体験機会や子ども達の頑張りに、日野市としてもっと向き合おう!!

問 コロナ禍における中学校修学旅行の今後について問う。

答 学校関係者で検討委員会を立ち上げ、宿泊行事の目的や意義、宿泊地や時期を見直します。風通しの良い組織への変革について、日野市の本気度を問う ミドル・アップダウン・マネジメントで中間層の意識改革を!!

問 市職員の人材育成への投資について問う。

答 外部コンサルタントに委託し、独自のマネジメントガイドラインを作成します。その内容を普及するため、管理職に対する研修を行います。

15 中野あきと（日本共産党）

市長及び議会の責任と役割が問われている～日野市政をめぐる一連の不正疑惑について～

問 元副市長は、川辺堀之内土地区画整理事業において平成25年度から会計操作を行っていたのではないか。

答 平成24・25年から科目偽装が行われていた疑いがあることは、市としても把握しています。

問 企業公社への川辺堀之内土地区画整理事業及びたかはた保育園民営化に関する委託について、調査解明の状況を問う。

答 区画整理事業は弁護士代理人によるヒアリングを実施していますが、現時点では報告できる段階にはありません。また、たかはた保育園民営化に関する調査は、企業公社に保管されている文書を調査確認しました。

16 新井ともはる（無会派）

にぎわいがつながる・ひろがる・商業発展するまちのルールづくり

問 課題認識を問う。

答 事業収益減少を認識した上で、商業者のニーズを把握し、国や都の補助制度などを活用して効果的な支援策を進めます。児童虐待の通告が過去最多～対策に向けての重要課題と緊急提言～

問 関係機関相互の情報共有の方法を問う。

答 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会などを通じ行います。ウクライナ人道危機対応～日常を突如奪われた市民に助けの手を～

問 募金の使途を問う。

答 赤十字社を通じて、人道危機救援金とします。

17 岡田じゅん子（日本共産党）

これ以上の負担増は許されない！国保税はむしろ値下げを

問 国保税値上げの影響を問う。

答 新税率の改定内容は、都に提出している財政健全化計画（赤字削減・解消計画）に沿った値上げ幅で、急激な負担増にならない範囲で検討したものです。

18 奥野りん子（無会派）

大坪市長は、違法に支出した市民の税金の総額をいくらと捉え、市民にどう償うつもりなのか？

問 川辺堀之内土地区画整理組合第5回事業計画変更での虚偽申請を問う。

答 本来、組合職員の人件費は事務費などに計上されるところを調査設計費や工事費などに計上されていました。

問 むこうじま保育園までの進入道路整備について問う。

答 用地買収費の妥当性について、専門家による再鑑定を実施しています。

問 北川原公園に関して最高裁でも違法判決が下された場合、道路を壊して公園に原状復帰する費用はどうするのか。

答 今の司法での判断は、都市計画法違反で、道路の有無を問われていないと判断しています。長引くコロナ禍、子どものいのちとここころを守り、発達と学びの保障が最優先の教育を！

問 新たな変異体に置き換わり、さらなる感染拡大へと発展した場合の対応について問う。

答 双方向型や課題配信型のオンライン授業などの実践について、情報交換を行うなど、ICTを活用した学びについて、調査研究を進めます。

19 わたなべ三枝（日本共産党）

コロナ禍における保育について、量と質の確保は譲れない！

問 公立および民間保育園における保育士の正規職員の欠員状況を問う。

答 公立では6名の欠員を会計年度任用職員と再任用職員などの配置で対応しています。民間では配置基準どおり適正な人員が配置されています。誰もが安心して歩ける生活道路を！

問 高齢者のフレイル予防の観点から、歩道を含む生活道路の補修、舗装工事について問う。

答 道路舗装補修計画に基づき、路面性状調査の結果、損傷が著しい路線順に舗装工事をしています。また、令和4年度には生活道路舗装補修緊急対策工事として、新規に予算化し、生活道路の補修を進めます。

20 池田としえ（無会派）

新型コロナワクチン決して報道されない空前の死者数と日本・世界で起こっている裁判等に迫る！

問 初回接種後と追加接種後における市内の死亡者の状況を問う。

答 国からの情報提供によると、令和4年3月現在でそれぞれ1件、合計2件ですが、国の審議会では、いずれのケースでも、現時点でワクチンと死亡との因果関係が評価できないとされています。

問 新型コロナ関連で国内あるいは世界で起きている裁判に関して分かっていることはあるのか。

答 市では、把握していません。

ミニバス増便努力を

問 市の考えを問う。

答 今後の利用促進につながる改善については、積極的に対応します。

21 中嶋良樹（チームみらい）

市民の声を力タチに！～挑戦する市役所づくりを～

問 財政再建の基本的な考え方について問う。

答 コロナ感染拡大などにより新たな行政需要が高まる中、必要なサービスを実施するには、財政運営の柔軟性を高める財政再建が必須と考えます。

問 財政非常事態宣言発令後の行財政改革の取り組みについて問う。

答 すべての経常経費について、事業の必要性や民間代替性、多摩26市との比較といった調査を行い、見直しの必要が高い事業を洗い出しました。

問 経常収支比率を90％以下に改善できないか。

答 歳出の扶助費の伸びが大きいことから、第6次行財政改革大綱では、経常収支比率について、95％以下を維持することを目標に掲げています。令和4年第1回定例会で審議された主な議題を紹介します（議案名は一部要約しています）。

●ロシアのウクライナ侵略を強く抗議し即時停戦と平和を望む 決議 可決

東京2020オリンピックのホストタウンとして友好を深めてきたウクライナ国民の命の尊厳と生活が脅かされています。市議会は、ロシアが国際法を遵守し、さらに国連憲章の前文に掲げた精神・決意に立ち返り、全ての軍事行動を今すぐ停止し、即時撤退することを強く求めます。また、国際社会には軍事力ではなく、対話と外交により速やかな平和回復、事態の収束に努力することを強く求めます。

●第3次日野市環境基本計画及び日野市環境配慮指針 可決

市の環境行政を総合的かつ計画的に推進するため環境基本条例第9条第4項の規定に基づき「第3次日野市環境基本計画」を、同条例第11条における代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い所要の改正を行うものです。（公布の日から施行※一部を除く）

●令和4年度一般会計補正予算（第1号） 可決

新型コロナウイルスワクチン接種および新型コロナあんしん健康相談窓口の継続実施（仮称）子ども包括支援センターの建設など早急に対応が必要なものに18億7千762円を追加し、歳入・歳出予算の総額を679億3千762万円とするものです。

●人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員の選任…山下雅裕氏▼監査委員の選任…鈴木洋子氏▼議員▼教育長の任命…堀川拓郎氏▼副市長の選任…波戸尚子氏

22 鈴木洋子（自由民主党）

市民を守る！信頼に応える今後を問う

問 コロナ禍における高齢者の現状把握を問う。

答 健康面や生活面について確認していくことが重要と考え、4月から戸別訪問による調査を実施し、地域で困っている高齢者を把握し、支援につなげます。

問 事業者支援を問う。

答 3回目のベイベイ事業の実施は、地方創生臨時交付金や都補助金の動向を見て検討します。

子育て世帯を支える体制強化を問う

問 医療的ケア児の支援の現状と今後を問う。

答 昨年、日野市医療的ケア児等支援協議会が発足しました。今後は、先進自治体の事例を参考にしながら、ケア児に対する保育、教育を行う体制について検討を進めます。

23 森沢美和子（チームみらい）

「みらい」を考える～子ども、若者、現役世代、高齢者、それぞれの世代の今の課題は？発達や精神で困難を抱える方を救おう！～

問 市立病院における面会自粛の現状と今後の対応について問う。

答 医療機関としての機能を維持し続けるため、面会禁止を実施しています。今後は、流行状況に応じた禁止の緩和・解除、感染に影響されない方法などについて検討します。

問 （仮称）2030ビジョンに発達障害、10代の精神疾患を含む精神保健の課題が含まれるのか。

答 （仮称）2030ビジョンは、今日の多様かつ複雑な課題を踏まえつつ、理想像を示すものであり、その担い手となる子どもたちや若者たちの思いも取り込みます。

皆さんからの請願

第１回定例会では、３件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	日野市政をめぐる疑惑を解明し、不正を一掃して市政を刷新することを求める請願	不採択
民生文教委員会	国民健康保険税の値上げ中止を求める請願	不採択
	５歳から11歳へのワクチン接種を中止する請願	不採択

陳情

請願や陳情の提出方法は、日野市議会のホームページにも掲載しています。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

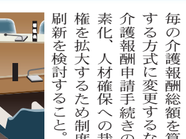
第1回定例会で可決された意見書は1件で、関係各機関に送付します。要旨は次のとおりです。

（全文は、市議会ホームページに掲載）

■介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書

政府に対し、地域の介護サービスを持続可能なものとするために、以下の事項に対して特段の配慮を求める。

①臨時の報酬改定で新設される新たな加算については、現行の二つの加算（「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」）の統合を含め一本化を検討するなど、事務手続き簡素化に改善加算」の配分方法の対象者について、事務職員等も含め、法人や事業所が加算金の弾力的な運用が可能となるよう所要の措置を講じること。

②「介護職員等特定処遇改善加算」の最大限努めること。

③公的価格見直しにおいて、現行の加算（「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」）との整合性を踏まえ、各介護職員の勤続年数と施設内でのキャリア検定制度などを組合せた、人件費をベースに事業所毎の介護報酬総額を算定する方式に変更するなど、介護報酬申請手続きの簡素化、人材確保への裁量権を拡大するため制度の刷新を検討すること。